

プロジェクト名：北海道鹿部町地先における鉄鋼スラグを用いた藻場造成（鹿部漁業協同組合、日本製鉄株式会社）

◆プロジェクト概要

鹿部漁業協同組合（以下、鹿部漁協）と日本製鉄（以下、日鉄）は共同で、日本製鉄社製の鉄鋼スラグ施肥材（ビバリ®エイト）を用いて藻場造成を主ないました。

今年度は**1.8haの藻場が確認され、主な藻場の構成種は、ワカメとスガモ**でした。ベースラインを差し引くと、**2023年度に1.28haの藻場が創出**できました。

また、審査により、2023年度分として海藻と海草藻場による**1.0t- CO₂の吸収が認証**されました。

◆プロジェクトPRポイント

鹿部町ではマコンブが特産品ですが、近年、海水温の上昇など海域環境の変化により、漁獲量は減少しています。この状況を踏まえ、鹿部漁協と日鉄は**協働体制を構築**し、藻場の維持・管理、藻場調査を実施してきました。

今後もマコンブをはじめ**水産生物の漁獲高の向上とブルーカーボンの活性化**に向け藻場造成を継続していきます。



図：鉄鋼スラグ施肥材



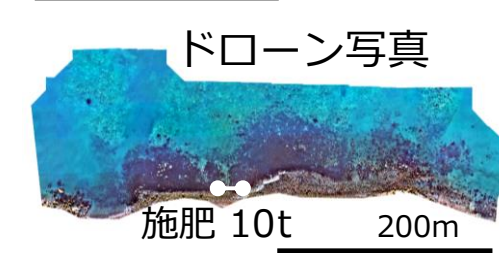
図：対象藻場のワカメ

2023年

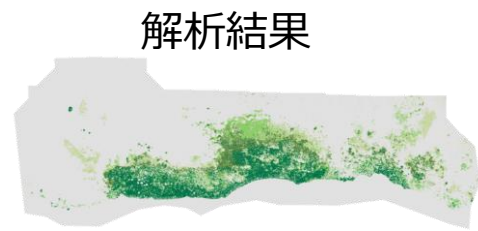


ドローン写真

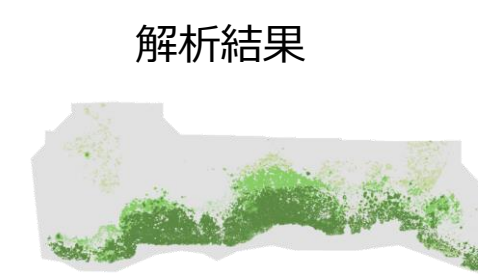
2024年



ドローン写真



解析結果



解析結果

凡例	□ ワカメ・他1	□ ワカメ・他2	□ ワカメ・他3	□ ワカメ・他4
	□ 砂・転石			

図：2023年と2024年の藻場のドローン写真と画像解析結果。緑（藻場）の部分の経年変化が追えます。